

日本共産党甲賀市議員団は1月18日、甲南町の希望ヶ丘コミュニティセンターで、「12月議会報告会&要求を聞く会」を開きました(写真)。

12月議会での代表・一般質問や意見書提案に対する各党派の態度などを中心に、西山実、岡田重美、山岡光広の各議員から報告を行い懇談しました。懇談会では、報告に対する質問、地域の要求や市政に対する意見など様々な声をお聞きすることができました。今後の議会に生かしていきます。



12月議会報告会&要求を聞く会

- ：加齢に伴う難聴者の補聴器購入補助について、「難聴が軽い人でも15万円する。高いのは60万円。年金生活者にはとても買えない。補助金額を上げてほしいが、まずは住民税非課税の枠をとって利用しやすい制度にしてほしい」との意見が。
- ：追認議案が3件あったことに関して、発見に至る経過の説明が求められ、「監査でなぜわかったのか、議会は何をしてきたのか、罰則規定や条例・規則はあるのか、また、最終的には市長が政治的責任を取るべきではないか」と厳しい意見が寄せられました。
- ：消防団の在り方について、「地域では次の人が見つからない限り消防団を抜けれられない。消防団の役割はますます重要になっていく。しかし「団員不足」は、消防団の中で解決できる問題ではない。市として現状を認識して、どのように改善していくのか考えが必要ではないか」との声も寄せられました。
- ：このほか、「学校給食の無償化への希望」「投票所の削減案が提案された。住民説明会をするということだが、改めて大幅削減は問題」「第4水口台の市道崩落個所が長期間放置され続けているのは問題」「ビレッジハウスの排水管の改修」など、意見・要望をお聞きしました。

1月度常任委員会の報告

厚生文教常任委員会

1月20日に開催された厚生文教常任委員会では、「甲賀市学校再編審議会」の開催及び答申について報告を受けました。

学校規模だけによる統合ではなく、甲賀市がめざす学校教育実現のための魅力ある学校づくりをめざすことや、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進、地域と共にある学校づくりなどについて議論され、「学校施設の利活用について、地域学校協働活動の場とすることや、市民が集う教育の場として活用するなど、地域の意向を聞きながら検討すること」「学校運営協議会を全小・中学校に設置し、極めて小規模の学校においては、中学校区単位での運営を行い、地域と連携を図ること」「義務教育学校の創設を将来的な視野に入れ、小中一貫教育を推進すること」などの答申が示されました。

教育委員会事務局からは、甲賀市小中学校教育のあり方審議会からの提言、甲賀市学校再編審議会からの答申などを踏まえ、第2次甲賀市小中学校再編計画(素案)を一月に作成するとの報告がありました。

山岡光広議員は、「甲賀市小中学校教育のあり方審議会からの提言と甲賀市学校再編審議会答申の学校再編後の校舎の活用についての考え方に違いがあり、第2次再編計画に向けては、時間をかけて十分検討すべき」と提案しました。

産業建設常任委員会

1月21日に開催された産業建設常任委員会では、4月1日からのコミバス・コミタクダイヤ改正について報告を受けました。

高齢化や高齢世帯の増加により、公共交通へのニーズは高まる一方、運転手不足など交通事業の担い手の不足は深刻な状況であり、現状の本数での運行維持が困難なこと等から見直しを行う。

①利用状況に応じたコミバス運行本数の見直し
平日の運行本数300便(全市)のうち、利用の少ない便を廃止もしくは減便で1割程度の減便を予定している。

②一種免許で輸送が可能となる
一种免許で輸送が可能となる
③JR草津線の利用促進を図るため、通勤通学利用が多い路線の運行本数を見直す。

④西山実議員は、「これ以上減便が続くと公共交通が成り立たなくなる、中長期的な対策をもって考えるべき」「ライドシェア導入に向けては、運転手・乗客双方の危機管理・安全管理の観点から、対策が必要」と発言しました。

西山実議員は、「これ以上減便が続くと公共交通が成り立たなくなる、中長期的な対策をもって考えるべき」「ライドシェア導入に向けては、運転手・乗客双方の危機管理・安全管理の観点から、対策が必要」と発言しました。

日本共産党 甲賀市議員団ニュース		山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415		岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696		西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
	2025年 1月 26日 第525号					